

全国公立学校教頭会高知大会

7月31日～8月1日に、高知県において、大会主題「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり～夢と志をもち、協働して未来を創る子供を育成するチーム学校づくりの推進～」をテーマに盛大に開かれました。記念講演として、映画監督である安藤桃子氏による講演「想像と創造～地球の子どもビジョン～」が行われました。コロナ過があったことで、子どもたちへの支援やかかわりに目が向いたことで、「想像と創造」がとても大事だと気付けたという内容でした。また、その後のシンポジウムでは、予測困難な未来に生きる子どもたちを育成するために、各関係機関や外部人材とつながる必要がある。子どもたちのウェルビーイングを高めるためには教師のウェルビーイングが大事で、学校が教師のウェルビーイングを高める場ではなくてはいけない。そのために、教師同士のつながりや信頼関係の構築が重要になっていく。教頭の抱える問題が飽和状態になっていないか、職務を整理してミドルに分散化し、協働していくことが大切であるという内容でした。

九州地区公立学校教頭会宮崎大会

8月22日～23日に、宮崎市にて開催されました。直前の日向灘地震で実施が心配されましたが、開催地の先生方のご尽力により無事開催でき本当に良かったと思います。全国統一テーマのもと、より地域に特化した活発な協議が分科会において展開されました。全体会では宮崎県出身の歌手、米良美一氏による「生きながら生まれ変わる」という演題でのお話でした。「もののけ姫」の主題歌で一躍時の人となった氏ですが、その脚光の一方で先天性骨形成不全症をはじめとする障がいを抱える等様々な不遇にも遭い、実は現在も満身創痕の中で表現活動を行っておられるそうです。氏の言葉を借りると、「地獄」の中で自分を引き上げ寄り添ってくれた方との出会いによる気づきや、自らの生き方や考え方を見つめなおし、「自分の役割を果たしたい」との願いが込められた今回の演題ではないかと感じました。あえて宮崎弁を使い、穏やかで朴とつとした語り口は聞き手の心にまっすぐ届き、さらに優しく響く心地よい声に会場全体が引き込まれ、数曲披露された歌声は素晴らしいの一言に尽きるものでした。



第1回研究部長会

8月5日(月)、福岡リーセントホテルで、県内各地区の研究部長の教頭先生方にお集まりいただき、第1回研究部長会を実施しました。はじめに、学校法人立花学園立花高等学校 校長 齋藤真人様に講話をしていただきました。演題は、「不登校児童生徒への効果的支援～学校に求められるコンフォートゾーン～」です。学校が全ての子どもにとってコンフォートゾーン(居心地のよい安全・安心の場)となるように、学校の「当たり前」を疑い、伴走型支援をしていく必要性を学ぶことができました。次に、研究要項や研究集録等について提案をさせていただきます、本年度の福岡県教頭会の研究について共通理解を図りました。講師の齋藤様、各地区の研究部長の教頭先生方のおかげで、充実した研究部長会となりました。

令和6年度 第53回 福岡県公立小学校教頭会研究大会について

日 時 令和6年11月12日(火) 13時 (12時30分受付)

会 場 宮若市宮田文化センター 大ホール 【住所：宮若市宮田72-1】

研究報告 筑豊地区 北九州地区 京築地区

講 話 【講師】 大阪教育大学 教授 田村 知子 先生

【演題】 「子どもと教師のウェルビーイングを実現するカリキュラム・マネジメント」

※駐車場収容台数は限られておりますので、駐車可能台数は地区ごとに割り振られています。駐車の際は駐車券を掲示し、所定の場所に駐車してください。